二見中学校の約束事 (校則などについて)

1日の生活サイクル

・下記の校時表に定められた時刻によって、毎日の学校生活を送ります。

校時	時間帯	月	火	水	木	金
8:10 生徒玄関通過 8:15 教室入室・着席完了						
8:15~ 8:25		学習タイム (読書等)				
8:25~ 8:35		朝のSHR				
1	$8:45\sim 9:35$ $(8:45\sim 9:30)$	授業	授業	道徳	授業	授業
2	$9:45\sim10:35$ $(9:40\sim10:25)$	授業	授業	授業	授業	授業
3	$10:45\sim11:35$ (10:35 $\sim11:20$)	授業	授業	授業	授業	授業
4	$11:45 \sim 12:35$ (11:30 \sim 12:15)	授業	授業	授業	授業	授業
12:35~13:30 昼休み <u>13:25</u> 予鈴(教室入室・着席完了) (12:15~13:10) (<u>13:05</u>)						
5	$13:30\sim14:20$ $(13:10\sim13:55)$	授業	授業	授業	授業	授業
6	$14:30\sim15:20$ $(14:05\sim14:50)$	授業	授業	授業	授業	授業
$15:25\sim15:35$ (14:55 $\sim15:05$)		帰りのSHR				
15:35∼ (15:05∼)		清掃				

^{※45}分授業になる場合は、上記の()内の時間帯となります。

[※]上記の校時表以外の時間帯になる場合もあります。

登下校時刻

(1)登校時刻 8:10 生徒玄関通過

8:15 教室入室・着席完了・教室で遅刻記録 学習タイム (読書等) 開始

8:25 朝のSHR開始

(2) 下校時刻 ☆部活動生徒 4~9月→18:30 11~1月→17:30

 $10 \cdot 2 \cdot 3$ 月 \rightarrow 18:00

☆一般生徒は、帰りの SHR (清掃) 終了後、速やかに下校(16:00)

※学級活動や委員会活動等が放課後にある場合は、16:30 が最終下校時間となります。

学校への連絡

- (1) 欠席・遅刻・早退をする場合は、必ず**保護者の方が学校へ電話連絡か、タブレット アプリ『校支援』の入力**をお願いします。(欠席・遅刻連絡については、できるだけ 7:45~8:05 の間にお願いします。8:05 から職員打ち合わせをしています)
- (2) 特に遅刻する場合は、1校時開始の8:45までに保護者からの連絡がなく、それ以降に登校した場合には、下校させる(家庭学習)場合もありますのでご注意ください。(「登下校中の事故や事件に巻き込まれたのでは」という心配にもなりますので、必ずご連絡ください。また、「きちんと時間を守らせる」指導としてご理解ください。)
- (3) 学校への電話の受付時間帯は、原則<u>平日の 7:45~下校時間 1 時間程度</u>になります。 <u>それ以外の平日の時間帯、休日、学校閉庁日は</u>固定応答メッセージが流れます。 部活動での欠席連絡等は、顧問と連絡方法について確認してください。
- (4) 学校の職員室には4台の電話機がありますが、<u>4台とも使用中の場合はいつまでも</u> 「**呼び出し音」が鳴り続けます**ので、お知りおきください。

通学

- ・全員「徒歩通学」となります。
- ・自転車通学は禁止しています。

服 装(制服)

○制服について

- Aパターン ・黒詰襟学生服上下(学校指定、日被連標準服マーク付き)。
 - ・学生服の下はポロシャツ(学校指定)を着用する。
 - ・左胸(ポケット上部)に名札(プレート)をしっかり縫い付ける。
- Bパターン ・紺セーラー服上下及びスカーフ (学校指定)。
 - ・セーラー服の下は、肌着(白色、ベージュ色、グレー色)か、セーラーズニットまたはポロシャツ(学校指定)を着用する。
 - ・左胸(ポケット上部)に名札(プレート)をしっかり縫い付ける。
- **C**パターン ・ブレザー (「みんなが選べる明石の制服」)。
 - ・ブレザーの下はポロシャツ(学校指定)を着用する。
 - ズボンかスカート(「みんなが選べる明石の制服」)を着用する。
 - ・左胸(ポケット上部)に名札(プレート)をしっかり縫い付ける。
- Dパターン ・ポロシャツ (学校指定)。
 - ・学生ズボン(日被連標準服マーク付き)、スカート(学校指定)か、「みんなが選べる明石の制服」のズボン、スカートを着用する。
 - ・左胸に名札(アイネーム)をしっかりつける。

○服装についての注意事項

- ・学校指定の制服か、「みんなが選べる明石の制服」を着用します。制服は必ず学校 もしくは市の指定店で購入してください。
- ・儀式や行事の際は、その都度学校よりお知らせいたします。
- ・制服を着くずさないようにする。(下記のことに気をつけてください。)

【ズボン】腰パン、裾をひきずるなどはしません。

<u>ベルトは黒色</u>(バックルが大きく派手なものや穴がたくさん開いているもの等、華美なものは禁止です)をつける。

【スカート】スカートの丈は、膝が隠れる程度。ウエストを巻いて短くしません。また、極端に長くしない。

・ポロシャツの下には、衛生上、必ず<u>白、ベージュ、グレー色の無地の肌着</u>を着用する。

※体操服、柄のシャツ等を着てきた場合、学校で着替えてもらうことがあります。

- ・名札は所定の位置につけます。(プラスチック製名札の糸の色は<u>白、黒、学年色</u>とし、ポロシャツはアイネームを貼りつけます。)
- ・スカーフは学校指定の簡易型式(平成25年度より導入)を取りつけます。
- ・<u>靴下は単色</u> (ルーズソックス、ワンポイント、極端に短いものや、膝が隠れるような長いものは禁止) のものを着用します。

- ・セーター類は<u>学校指定のスクールセーター</u>の着用を基本とします。又は、<u>黒、紺</u> <u>、グレーー色のVネックセーター</u> (スウェット、トレーナー、パーカー類は禁止です)。セーターの裾や袖を外に出さないようにしましょう。
- ・マフラー・ネックウォーマー、手袋の着用については、下記の約束事を守ります。
 - ① 防寒を目的としたものとし、華美なものは避ける。
 - ② マフラーの巻き方については、他への巻き込み防止等安全確保のため、端 が長く出ないようにしてください。

服装(体操服)

- ・夏用、冬用ともに学校指定のものを、名札(アイネーム)を付け使用します。 ※名札の付け方は、入学後にお知らせします。
- ・制服の下に、下着代わりとして使用しません。

頭髪

〇以下のことに注意してください。

- ・脱色、染色、パーマ(ストレートも)は禁止しています。
- ・つけ毛(エクステンション、ウィッグ)は禁止です。
- ・ワックス、ムース、スプレーなどの整髪料の使用は禁止です。
- ・左右非対称 (アシメ) の髪形にはしません。左右の長さが違う場合は短い方に合わ せます。
- ・前髪は目にかからないように切ります。
- ・髪を立てたり、くせをつけたりせずに自然の状態にします。
- ・過度なそり込みや刈上げ、ラインを入れるなど、奇抜な髪形にしません。
- ・肩のラインに髪の毛がつく程度になれば、<u>黒・紺・茶色のゴム(装飾のないもの)</u>で1つまたは2つにくくります。頭頂部や横(正面から見える位置)でくくらない。
- ・ヘアピン、パッチン留めは黒か紺、茶色のみ(装飾のないもの)使用します。留める際に横髪や後ろ髪が落ちてこないように使用します。

○その他

・眉毛は幅や長さを短くしたり、薄くしたりせず、<u>触らないことを原則</u>とします。 ※散髪等では、必要に応じ、事前に「眉毛は触らないで下さい。」と伝えましょう。

カバン

- ・学校指定のリュック形式と学校指定のサブバッグを使用します。
- ・上記に入れても入らない場合は、手提げバック等を使用してもよい。
- ・カバンにはキーホルダー類をつけたり、落書きやシールを貼ったりするのは禁止です。

靴

- ・運動靴 (ランニングシューズ) とします。(体育の授業でも使用するため、走る、跳ぶという運動に適したものを選ぶようにしてください。ハイカットタイプのものは禁止、底が硬く指が曲げにくいもの、重たいものもできるだけ避けてください。)
- ・校舎内では上靴、体育館では体育館シューズ(共に学校指定)を履きます。
- ・かかとなどに名前を書きます。靴に落書きをしたり、かかとを踏んだりしません。

所持品

- ・学校生活に不必要な物は持ってこない。判断に困るものは担任に確認してください。
- ・以下のものは不要物になるので持ってこない。
 - ○スマートフォン ○カラーコンタクト ○化粧品 ○香水 ○アイプチ
 - ○アイテープカラー ○ピアス ○ネックレス ○ミサンガ ○時計 など
- ・お金は必要以外持ってきません(担任に預けない場合は、個人の責任となります)。
- ・飲み物は、水、お茶、スポーツドリンクのみとする。水筒かペットボトルに入れてくる。

昼食

・平成30年度より学校給食が開始されました。みんなで協力して、安全にマナーを守っておいしくいただきましょう。給食着は学校で用意しています。

【準備していただきたいもの】

ランチョンマット、お箸、マスク

・衛生上、髪はしつかりとくくり、給食帽に収まるようにする。

その他

- ・持ち物にはすべて名前を書きましょう。
- ・爪は安全面からも長く伸ばさず、手も足もネイルアートは禁止です。